

APNIC Update

第42回JPNICオープンポリシーミーティング(2022/06/24)



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2022 Japan Network Information Center

APRICOT 2022/APNIC53(2022/02/21-03/03)



引き続きオンラインのみでの開催となりました。

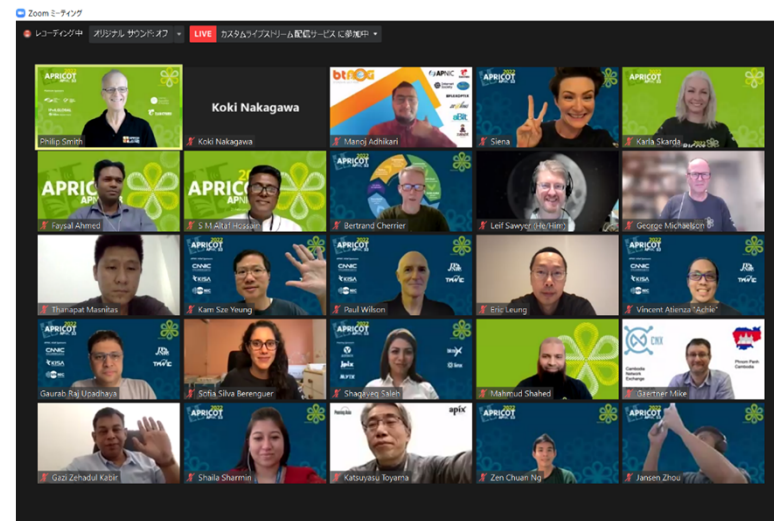
参加方法：Zoom/YouTube Live

参加者数

65カ国(経済圏等含む)

886名

→APRICOT 2021/APNIC51(Online)が633名。オンラインでも年々参加者は増加してきている。



プログラムについて

- Tutorial

 - DDoS Resiliency, Network Automation, Segment Routing etc...

- SIG(Special Interest Group)

 - Cooperation , Policy, NIR, Routing Security

- Technical

 - APOPS, IPv6 Deployment, Security etc...

- 他団体関係

 - NOG, APStar, DotAsia AGM, APIX etc...

- その他

 - PD: Operating the network when a natural disaster is occurring

 - Diversity in Tech

Policy SIG: 変更点

コンセンサス確認をZoom Poll のみからConfer (<https://confer.apnic.net>)と併用に戻す⇒次回以降オンサイト開催へ向けての準備か？？

Proposals:

Test Proposal

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv4
only)

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv6
only)

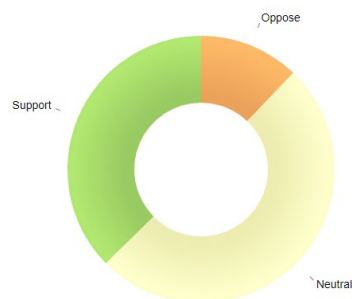
prop-130:
Modification of
transfer policies (ASN
only)

prop-133: Clarification
on Sub-Assignments

This proposal is not currently under discussion. There is no current proposal under discussion.

This is the online consensus for proposal: Test Proposal.

"This is a test proposal for practice session."



Polling Questions in Progress

00:00:19

Attendees are now viewing questions

1 of 1 voted

1.What is your favorite color?

Red (0) 0%

Green (0) 0%

Blue (1) 100%

End Poll

前回52ではConfer使えず意見が出ていたのでそれもあるかも

アドレスポリシーに関する議論②

3件の提案について議論。

コンセンサス(3件)

prop-142 : 「移転ポリシーテキストの統一」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-142/>

prop-143 : 「AS番号のエンドユーザーへの割り当て」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-143/>

prop-144 : 「実験用割り振りアドレスのリザーブプール確保」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-144/>

prop-142 : 「移転ポリシーテキストの統一」

概要

移転に関するポリシーは、番号リソース(IPv4, IPv6, ASN)の種類ごとに別れて記載されているが、それらを1つの文章にまとめる。

ポリシー文書の簡潔化・見直しを行うためのワーキンググループ (<https://www.apnic.net/community/participate/sigs/wgs/>)の活動で挙げた提案。

1.文書統合すること、2.移転履歴の全公開の二つに分けてコンセンサス確認を行った。共にコンセンサスに至る。

prop-142 : 「移転ポリシーテキストの統一」

Prop-142の対象範囲

Part 5: Resource Transfers

11.0. Intra/Inter-RIR Transfers

11.1. Conditions on the Resources to be transferred

11.1.1. Historical IPv4 Resources

11.2. Conditions on the Source of the transfer

11.3. Conditions on the Recipient of the transfer

12. Mergers & acquisitions

12.1. Updating registration details

12.2. Effect on membership agreement

12.3. Consequences for delegations

prop-143 : 「AS番号のエンドユーザーへの割り当て」

概要

APNICではLIRがエンドユーザーの代わりに申請を行い、AS番号の割り当てを受けることができる。ただしこの条件として、「申請したLIRとのコネクティビティを喪失した場合には、このAS番号を返却しなければならない」と定められていた。この条件は、「エンドユーザー」が何らかの理由でコネクティビティを提供するLIRを変更したり、APNICやNIRの会員になったりする際に、AS番号を変えねばならないという不便な状況を作っていた。これらのシチュエーションにおいて、同じAS番号を継続して使用できるように文言を変更したい。

反対なしでコンセンサスに至る。

prop-144 : 「実験用割り振りアドレスのリザーブプール確保」

概要

APNICでは、実験用のIPv4アドレス割り振りについて、ポリシーの中で規定している。ただし、ここでは条件を示しているだけであり、アドレスプールの確保は行われていない。IPv4アドレスの在庫が枯渇している状況下において、真に必要な際に機能しない文書になってしまわないようにアドレスの確保を提案する。

2022/2/17のAPNIC53 Policy Proposals Webinarでは確保するサイズ(提案では/21とされていたが、それ以上/19)を求める声や、期間5年を経過したのちにポリシーを継続するか、そのまま失効するのかが議論となりました。

prop-144 : 「実験用割り振りアドレスのリザーブプール確保」

確保するサイズは/21のまま、ポリシー継続・失効の判断はその時の状況にゆだねる判断となった。

⇒コンセンサス確認ではこれらの調整に同意できていない人物からか、3割ほどの反対票が入りましたが、Chairの総合判断によりコンセンサスが宣言された。

その他のポリシーピックアップ

prop-141 「IPv4アドレスの最大割り振りサイズの/23から/23+/24への変更」 概要

新規メンバーのIPv4アドレス割り振り上限を/23(512IP)から/23+/24(768IP)に変更する。2019年2月28日以降に上限での割り振り(/23)を受けたメンバーは追加で/24を申請することができる。なお、APNICの在庫量に合わせて以下のステージを設定し、最大割り振りサイズは変動する。APNICが返却などで在庫が増加した際は、それに伴いステージも変動する。

ステージ1 - 900,096以上 /23 + /24

ステージ2 - 900,096未満,256,000以上 /23

ステージ3 - 256,000未満190,000以上 /24

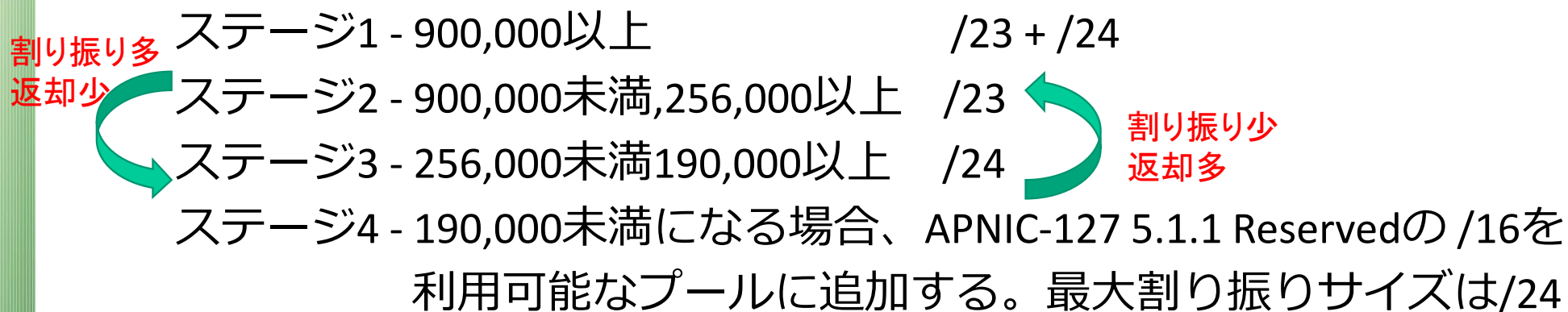
ステージ4 - 190,000未満になる場合、APNIC-127 5.1.1 Reservedの /16を
利用可能なプールに追加する。最大割り振りサイズは/24

prop-141「IPv4アドレスの最大割り振りサイズの/23から/23 + /24への変更」

2022/02/18 最新版が投稿され、APNIC53ではコンセンサス確認ナシの情報共有が行われた。

⇒前回のディスカッションで指摘されたステージの逆行によるオペレーティングの負荷問題はそのままに。

prop-141 「IPv4アドレスの最大割り振りサイズの/23から/23 + /24への変更」



提案文書のままだとこれらのステージ移行が何度も可能となる。

投票では過半数からの賛成を得ましたが、一定数の反対票も確認され、チェア判断の下、コンセンサスには至りませんでした。

他のRIRのポリシーピックアップ(ARIN)

ARIN-2021-6:Remove Circuit Requirement(接続回路提供要件の削除)

2.4項(LIRの定義)では、LIRは自社の提供するサービス利用者にIPアドレスを割り当てるとしているが、この文言ではIPアドレスのリースを行う事業形態を含んでおらず、利用率に反映できないと指摘。

⇒「LIRはネットワークユーザーへアドレスを割り当てる組織」と定義することでLIRとユーザー間に接続サービスがない、IPアドレスリース事業者もLIRに含まれ、リースしたアドレスは使用している(利用率を満たし、追加アドレスを取得可能な状態にできうる)ようにする。

リース容認派と否定派で議論中

JPNICブログ：ARIN 49でのIPアドレス・AS番号分配ポリシーに関する提案ご紹介

<https://blog.nic.ad.jp/2022/7504/>

他のRIRのポリシートピックアップ(RIPE)

Concept Policy Proposal – Remove Policy for Mandatory IPv4 PA Assignment Registration in the RIPE Database

PDPに入る前の事前ディスカッションとして行われたプログラムです。

LIRのインフラ割り当てに関して、IPv4アドレスの枯渇によって追加割り振りが見込めないことから必須登録ではなく任意にしてもよいのではないかという提案です。インフラ割り当ての場合は上位と同一なのでコンタクト先にも困ることはないと言提案者は述べています。一方でRIR間での移転の際にはIPアドレス使用率が要件となることから、今後移転を検討している組織などに混乱を与える可能性があります。またレジストリの意義・機能として残すべきとの意見も出ています。

JPNICブログ : RIPE 84での話題について

<https://blog.nic.ad.jp/2022/7555/>

次回以降のAPNICミーティング

- **APNIC54**

日時： 2022年9月8日-15日

場所：シンガポール

約2年半ぶりのオンサイト開催予定!!



- **APRICOT2023/ APNIC55**

日時：2023年02月20日-3月2日

場所：東南アジア

参考: APNICミーティングはどこで開催されるの？

<https://blog.nic.ad.jp/2021/5846/>

APNICミーティングWebページ

<https://www.apnic.net/events/conferences/>